

米国のPEV普及を推進する「Plug In America」

平成25年4月10日
サンフランシスコ産業情報センター
駐在員 佐藤 賢児

自動車大国の米国では、電気自動車等の普及促進を目的とした大小様々な団体が活発に活動していますが、この度、サンフランシスコ産業情報センターは、電気自動車やプラグイン・ハイブリッド車(以下、合わせて「PEV」)の普及を推進している非営利団体「Plug In America(プラグ・イン・アメリカ)」の関係者と面談し、その活動内容や米国におけるPEVの市場動向等について聞き取りを行いましたので概況を報告します。

【「プラグ・イン・アメリカ」の概要】

プラグ・イン・アメリカは、2004年に形成された“DontCrush.com”というEVドライバーによるネットワークからスタートし、2008年1月に現在の非営利団体となりました。団体設立後、PEVの普及のために、主要自動車メーカーへのPEV製造の働きかけや、政府関係者へのロビー活動、消費者への普及啓発など積極的に活動しています。



今回、プラグ・イン・アメリカの活動内容やPEVの市場動向等について、サンフランシスコで同団体のマネージング・ディレクターとして活動している、カーク・ブラウン氏にインタビューを行いました。

【問】現在、何名のスタッフがいるのか。また、会員数は？

→ サンフランシスコでは、常勤のスタッフが2名とパートタイムのスタッフが10名以上で活動している。会員数について、正確な数字は把握していないが、少なくとも1万人以上から寄付があった。

【問】PEV以外にも、ハイブリッド車や水素自動車、燃料電池車などの普及活動も行っているのか？

→ 我々は、PEVのみを対象として普及活動を行っている。

【問】どのように団体を運営しているのか？

→ 団体発足時から、個人からの寄付により賄われているが、いずれは、政府や自治体からの援助も受けられるようにしたい。

【問】どうしたら会員になれるのか？また会員になる特典は何か？

→ 入会時に1人当たり25ドルの寄付をお願いしている。会員になった場合の具体的な特典はないが、PEVの普及に貢献できることだと思う。

【問】プラグ・イン・アメリカと他の団体との活動内容の違いは何か？

→ 我々以外にも、PEV 関連の様々な団体が活動しているが、その多くは小規模であったり、単なる PEV の愛好者の集まりがほとんどだが、プラグ・イン・アメリカは、米国でも数少ない大規模な PEV の普及推進団体である点が特徴だと思う。

【問】 主に、どのような活動を中心に行っているのか？

→ 現在のメイン・プロジェクトとしては「Plug In @ Work」がある。このプロジェクトは、従業員数が主に数千人程度の大企業に出向き、従業員向けには PEV の試乗やセミナーの開催、雇用者向けには、PEV 用充電設備（レベル 1）の普及啓発活動を行っている。

この活動により、今年の 1 月に米国エネルギー省が発表した「Workplace Charging Challenge : ワークプレイス・チャージング・チャレンジ（各職場への PEV 用充電設備の整備促進プログラム）」のアンバサダー（同プログラムの支援やプロモーション活動を実施する役割）に認定された。

この他にも、最近では、政府関係者や政策決定者へのロビー活動や、WEBINAR（ウェビナー：インターネットによるセミナー）による消費者への普及啓発活動も実施している。このウェビナーは大変好評であるため、今後スタッフが増えたらもっと頻繁に開催したい。

また、一昨年から、PEV のパレードや試乗、PEV 所有者同士のパーティーやブース出展等を行う普及啓発イベント「ナショナル・プラグイン・デー」を The Electric Auto Association（電気自動車協会）等と共催しており、昨年は全米 65 都市で実施された。今年は 9 月 29 日に開催予定であり 100 都市以上の参加を見込んでいる。

【問】 米国内で、どの地域が PEV の普及が進むと思うか？

→ やはりカリフォルニア州ではないか。カリフォルニア州は、早くから厳しい環境規制や PEV の購入に対する税控除等の制度整備が進んでおり、住民の PEV への意識も高い。また、自治体との協働による PEV を利用したカーシェアリング・プログラムを通じて、消費者が、PEV を購入する前に実際に試乗できる機会も多い。

【問】 今後の米国における PEV マーケットをどのように見ているか？

→ 現在は、PEV の普及スピードは依然と緩やかだが、2020 年頃までに急激に伸びるのではないかと。

最後に、米国内で今後 PEV が普及する上での重要な要素についても意見を聞いたところ、連邦政府や各州政府による PEV 購入の際のインセンティブの継続や PEV 用充電設備の更なる普及、バッテリー技術の改良等もさることながら、全米規模の大きな普及啓発イベントの開催やウェビナーによる情報発信等、PEV について正しい理解を深めるための継続的な“消費者への普及啓発活動”がとても重要であると強調していました。

【米国内における PEV 等の販売動向】

ところで、米国におけるハイブリッド車や PEV の販売動向はどのような状況なのでしょう？ 2011 年 1 月から本年 3 月までの米国におけるハイブリッド車及び PEV の販売動向について、米国電気自動車協会（Electric Drive Transportation Association）発表の統計データから見てみると、図 1 のような状況となっています。

→ <http://www.electricdrive.org/index.php?ht=d/sp/i/20952/pid/20952>

ハイブリッド車の販売数は、ここ数年順調に増加しており、また、プラグイン・ハイブリッド車は、2012年は前年比で5倍以上の高い伸びを示し、電気自動車も今年の3カ月だけで既に2011年の約1万台に迫る勢いで

す。
そして、ハイブリッド車を含むPEV等の販売数が、全自動車販売台数に占める割合は、2.23% (2011年) → 3.38% (2012年) → 3.77% (2013年3月)と、微増傾向にあります。

年月	ハイブリッド	プラグイン・ハイブリッド	電気自動車	計
2011年	266,329	7,671	10,064	284,064
2012年	434,645	38,584	14,251	487,480
2013年(1月~3月)	121,111	8,222	9,191	138,524

図1 米国内におけるハイブリッド車・PEVの販売台数
(米国電気自動車協会の発表データを基に作成)

また、PEVだけの販売台数を見てみると、図2のように本年3月時点では累計で約9万台であり、各月の販売台数を示す棒グラフ先端の赤色部分が、少しずつ大きくなっていることが分かります。

現在は、米国におけるPEVの普及スピードはまだ非常に緩やかな状況ではありますが、主要自動車メーカーによる新型のPEVモデルの投入や、消費者への普及啓発活動、PEVインフラの整備等により、今後、PEVの販売がどのように推移していくのか、引き続き注目していきたいと思えます。

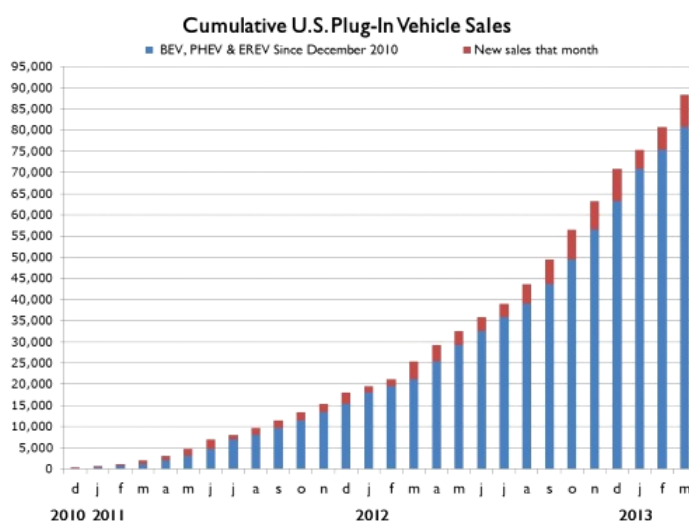


図2 米国内におけるPEVの累計販売台数
出典：米国電気自動車協会